



きほんの講座 ①－1

定員40名

◆カレッジデビュー講座

主 題 まなびのコース1年生向けのおすすめ講座です。日本の文学、芸術、海外の文化など……それぞれの分野で活躍する方を講師にお迎えし、オムニバス形式でお届けします。これまで苦手意識を持っていたり、触れるチャンスがなかった分野に接する良い機会です。ご自身の新たな一面を発見してみませんか？

※第4回はワインの試飲はございません。

講座番号 ①－1

時 間：午後6時30分～8時

場 所：築地社会教育会館

回 数：5回

受講料：1,500円

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	9/21（水）	朗読の楽しみ～朗読というツールを手に入れよう～	林 理絵子
第2回	9/28（水）	スリープマスターが教えるぐっすり眠るための秘密を知ろう！	田中 大地
第3回	10/12（水）	日本の伝統楽器"箏"のいろは～音色を感じる～	鈴木 泉芳、後藤 有子
第4回	10/19（水）	ラテン流ワインの楽しみ方～ルーマニア・イタリアからのおくりもの～	川上.L.れい子
第5回	10/26（水）	音楽が生まれる時～ギタリスト・ギター職人と一緒に楽しむフラメンコ～	中井 琢真、清水 優一

講 師 紹 介

林 理絵子（はやし りえこ）

語り演者、音訳者。NHK日本語センターで朗読を、放送教育表現センターでドラマティックリーディングを学び、舞台語りで鎌田弥恵氏に師事。ラジオ朗読番組、朗読トレーニングCD、舞台朗読などに出演。現在は語りの会「六紅樹」、kokoro語り「扉」に所属。大学や毎日文化センター他にて朗読・語りの講師を務める。

田中 大地（たなか だいち）

日本睡眠科学研究所認定スリープマスター。1566年創業の西川株式会社で眠りのプロフェッショナルとして、販売員教育などを担当している。また、全国で眠りに関するセミナーや寝具選びのコンサルティング、快適な睡眠環境づくりのアドバイスを行う。

鈴木 泉芳（すずき のりか）

箏演奏家。3歳より箏を、8歳より三味線を、10歳より胡弓、鼓（太鼓）及び華道をはじめ。東京藝術大学音楽学部邦楽科箏曲生田流専攻卒業。川瀬白秋氏、深海さとみ氏に師事。2015年第25回全国高校生邦楽コンクール第3位入賞。2020年歌舞伎座にて「千人鼓の会」ギネス記録達成ほか多数受賞。各地の寺院及び重要文化財にて奉納演奏活動を行っている。

後藤 有子（ごとう ゆうこ）

箏演奏家。7歳から箏、17歳から三絃を始める。東京藝術大学音楽学部箏曲生田流専攻卒業。これまでに安江菊扶路氏、深海さとみ氏に師事。当道会所属大指導。賢順コンクール岸辺成雄賞、熊本邦楽コンクール優秀賞受賞。

川上.L.れい子（かわかみ れいこ）

明治大学ルーマニア文化研究所客員研究員。（一社）中東欧ワイン・リカー文化協会代表理事。慶應義塾大学文学部卒業。英・伊・ルーマニアなど海外生活10年。現地情報をニュースサイトや機内誌などに執筆する。イタリア老舗食品会社勤務時は食とワインの提案や中東欧のワイナリーを取材。大使館・企業向けに文化講座を担当、ワイン輸入販売のサポートも行う。共著『東欧のかわいい陶器』（誠文堂新光社）など。

中井 琢真（なかい たくま）

ギタリスト・作曲家。幼い頃から様々なジャンルの音楽に触れて育つ。2004年に渡米しニューヨークでジャズ、ラテンを学ぶ。帰国後、ジャズやインド音楽、電子音楽をミックスさせた作曲活動を行う。近年は、フラメンコギターを志し2014年に渡欧。ドイツにてラファエル・コルテス氏、スペインにてエル・ビエヒン氏に師事する。本場のフラメンコ奏者たちと修行を重ね2019年に帰国。現在はホームメイ、雅楽、キューバ音楽奏者などと共に活躍中。

清水 優一（しみず ゆういち）

ギター製作家。16歳の時に茶位幸信氏のギター製作教室に参加し、フェルナンデスギター・エンジニアスクールに入学する。2000年に河野ギター製作所に入社、製作技法を学ぶと共にギターと音楽について見識を深めた。当時製作した作品がギターマガジン誌上で大きく取り上げられている。現在は、フラメンコギタリストの中井琢真氏とタイアップし、製作家および演奏者としての目線から、スペインの伝統的なスタイルを発展させたフラメンコギターを製作している。



◆街歩き楽しみ隊

(9/30, 10/14, 10/28, 12/2を除く)

主 題 中央区を知り尽くしたまち案内のボランティアが、中央区の魅力をご紹介します。講義の回には、そのテーマの専門の先生方にお話を伺い、その次の回には、講義に関連した地域のまち歩きを楽しみます。あなたもすっかり中央区通になること間違いなし！

【ご受講に際して】講座日程にご注意ください
企画・運営協力：中央区文化財サポーター協会

講座番号 ①ー2

時 間：午後2時～4時
※第8回のみ午後2時15分～午後4時15分
場 所：築地社会教育会館ほか
※第2回、4回、6回、8回はまち歩き
回 数：8回
受講料：2,400円
※初回(9/15)のみ木曜日に実施します

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	9/15 (木)	東京駅前と日本橋川沿いのまちづくり	福島 真一郎
第2回	9/30 (金)	【まち歩き】 日本橋・八重洲	文化財サポーター
第3回	10/ 7 (金)	三井越後屋から見る三都と地方の商品流通	下向井 紀彦
第4回	10/14 (金)	【まち歩き】 日本橋・東日本橋	文化財サポーター
第5回	10/21 (金)	時、時計の歴史そして服部金太郎の足跡	村上 斉
第6回	10/28 (金)	【まち歩き】 銀座&セイコーミュージアム銀座	文化財サポーター
第7回	11/18 (金)	築地本願寺とその周辺～重層する歴史をひもとく～	増山 一成
第8回	12/ 2 (金)	【まち歩き】 築地&築地本願寺	文化財サポーター

講 師 紹 介

福島 真一郎 (ふくしま しんいちろう)

中央区都市整備部まちづくり事業担当課長。2004年入庁。公害調査や温暖化対策、建築確認(設備)に携わった後、2017年度から都市整備部地域整備課でまちづくりに従事し、2021年度から現職。各地区のまちづくりガイドラインなどに掲げる将来像の実現に向け、地域の方々との意見交換を重ねながら、良好なまちづくりの推進に日々取り組む。

下向井 紀彦 (しもむかい のりひこ)

公益財団法人三井文庫主任研究員。1983年生まれ。広島県出身。専門は近世流通経済史。主に三井越後屋の仕入・販売・宣伝や、三井越後屋の商品仕入れからみた三都と地方との流通や交通などについて研究している。また、近世瀬戸内・山陰の港町をめぐる商品流通や地域振興策についての研究も進めている。

村上 斉 (むらかみ ひとし)

セイコーミュージアム銀座顧問、学芸員。1974年(株)服部時計店(現セイコーホールディングス(株))入社。(株)和光代表取締役社長、セイコーホールディングス(株)専務取締役、セイコーインスツル(株)代表取締役社長、セイコーミュージアム銀座館長などを歴任する。2022年4月より現職。※セイコーミュージアム銀座についてはP.37をご参照下さい。

増山 一成 (ましやま かずしげ)

中央区教育委員会事務局図書文化財課地域資料等活用担当係長(課長補佐・学芸員)、国際日本文化研究センター共同研究員。法政大学大学院社会科学部研究科修士課程修了。中央区を中心に歴史的・文化的所産に関わる調査研究などに従事している。近年の著書には『近代日本博覧会資料集成』(編著、国書刊行会)、『万国博覧会と人間の歴史』、『万博学』(共著、思文閣出版)、『みる・よむ・あるく東京の歴史』第5巻(共著、吉川弘文館)などがある。

築地本願寺とは

築地本願寺は、京都の西本願寺を本山とする浄土真宗本願寺派の寺院です。「築地」という名称は、江戸幕府から与えられた海上を埋め立てて土地を築いた所に本堂を建立した事に由来します。関東大震災で本堂が焼失した後、建築史家の伊東忠太氏が設計した現在の本堂は、仏教寺院には珍しいインドやアジアの古代仏教様式を採用しているのが特徴です。



◆古絵葉書で見る日本橋ビックリ風景

講座番号 ①－3

時 間：午後2時～3時30分

場 所：日本橋社会教育会館

※第4回は現地集合・現地解散

（講座の中でお知らせします）

回 数：4回

受講料：1,200円

主 題 2021年に架橋110周年を迎えた日本橋。街の風景は移り変わって行っても日本橋は当時の姿を残したままです。110年の間に日本橋が見て来た景色を、主に明治・大正時代に発行された絵葉書を通じてご紹介いたします。特に高速道路がなかった時代の日本橋を見たことがない世代の方々に、驚きの風景の数々をご覧ください。

※第4回は、晴天の場合日本橋界限へフィールドワークを行います。

※もしかしたら特別ゲストも??? ※内容は、一部構成が変更になる場合がございます。

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	9/24（土）	開橋の日本橋～その前の日本橋～日本橋魚河岸	樋口 純一
第2回	10/ 1（土）	祝祭の日本橋～関東大震災～デパート	
第3回	10/ 8（土）	空から見た日本橋～夜景～様々な建築	
第4回	10/15（土）	フィールドワーク～現在の日本橋を歩く～	

講 師 紹 介

樋口 純一（ひぐち じゅんいち）

有限会社日本橋弁松総本店代表取締役。1971年東京都生まれ。1994年日本大学法学部を卒業後、親戚の営む新潟の割烹旅館に勤務。1997年有限会社日本橋弁松総本店入社。半年後、先代急死により現職就任。以降、過労死をかわしつつ、寿命の限り経営に碎身中。老舗としてのプライドを高める一方で、いかに敷居を低くするかをテーマに日々活動。日本橋の古絵葉書を収集したり、街案内のガイドの活動を行い、日本橋の魅力をゆるく伝えている。



改築セル日本橋欄干ノ麒麟燈



◆伊勢・松阪商人と江戸・日本橋と

講座番号 ①－4

時 間：午後2時～3時30分
場 所：日本橋社会教育会館
回 数：3回
受講料：900円

主 題 江戸時代、伊勢・松阪から江戸日本橋を拠点にして暖簾を並べた三井、小津、國分など豪商たち。その中の長谷川家の末裔、「松阪商人」として修行を通じて見たもの聞いたもの、体験した事など、さらには京都、歌舞伎、裏千家との友好に至るまで歴史・文化を語り継ぐ歴史の楽しみ方・こぼれ話をうかがいます。また、学生時代から続ける神社仏閣の研究からの学芸員資格を活かしつつ、ただ一方的な語りではない皆様との多様な見方からテーマを探っていく講座です。

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	10/17 (月)	江戸を紐解く そしてその歴史、道の楽しみ方	長谷川 隆
第2回	10/31 (月)	商人とは そしてよろずばなし ～伊勢商人と江戸～	
第3回	11/14 (月)	商人のまち そして中央区と	

講 師 紹 介

長谷川 隆 (はせがわ たかし)

長谷川南家庫主・専任学芸員（有資格）。1958年生まれ。1635年（寛永12年）、伊勢松阪から日本橋で創業の木綿繊維問屋・長谷川家の末裔。学習院大学を卒業後、長谷川への即入店は一族とはいえ、家掟通り許されず丁稚奉公・行儀見習を伊勢商人でありながら、同じ日本橋本町の近江商人の繊維の老舗大手、塚本家にて修行。一般小売店、デパートなどを担当。一般小売のお店では担当の挨拶初日に寿司桶を持って来たのでお祝い？と思ったら、まさかの桶に溜めた水をスーツ姿の頭から掛けられ商売、人との機微、根性を試された。以降「商売・人生は滅私喜捨・地動説」を説く。約320年前、元禄時代の長谷川分家の大福帳を直に手に触れていただきながら江戸、日本橋、そして松阪伊勢を語るツアーは大好評。創建・749年（天平21年）松阪・清光寺研究員。茶道裏千家許状。内閣府認可・認知症予防支援相談士の資格なども有する。



日本橋

きほんの講座 ①－5

定員 10名

◆人と食とが出会う場所～築地場外市場～

主 題 築地場外市場は、昭和のはじめよりプロの買い出し人で賑わう「食の台所」として親しまれてきました。中央卸売市場が豊洲へ移転した現在でも、鮮魚・青果・精肉・調理道具、さらには飲食店などおよそ400の店が営業をしております。最近では、中央区にお住まいの方を中心に、日々の買い物の場として利用されるようになり、幅広いニーズに対応できる市場として賑わっています。

築地場外市場を取りまとめているNPO築地食のまちづくり協議会では、築地から食の情報を発信することを目的に、2016年5月より「築技セミナー」と題し、さまざまな学びを一般の方向けに開催しています。

この講座では、身近な食材をテーマに3回にわたってご紹介致します。専門家ならではの知識と、日常でも使える食材の扱い方のコツを、わかりやすくご紹介いたします。

講座番号 ①－5

時 間：午前10時～正午

場 所：魚河岸スタジオ

回 数：3回

受講料：900円

材料費：3,000円

【持ち物※第3回目のみ】

鯉節削り器をお持ちの方は、ご持参いただければ、刃の調整をいたします。

企画・協力：NPO法人築地食のまちづくり協議会

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	10/19 (水)	豆のおはなしと、ようかんの作り方	石川 秀樹 (三栄商会)
第2回	10/26 (水)	築地場外市場と水産仲卸～魚の扱い方と簡単レシピ～	門井 直也 (京富)
第3回	11/ 9 (水)	料理に合う鯉節の選び方と鯉節の歴史	秋山 久美子 (秋山商店)

講 師 紹 介

石川 秀樹 (いしかわ ひでき)

三栄商会 (さんえいしょうかい) 社長。三栄商会は創業1948年 (昭和23年) の豆・雑穀の専門店。全ての豆を手で選り、割れや欠けを丁寧に選別し販売。北海道産の小豆、大豆、大正金時から、とら豆、ひよこ豆、レンズ豆など珍しい品種も多く扱う。豆の扱い方やレシピも多数紹介。生産者を招いたセミナーや料理教室も開催している。

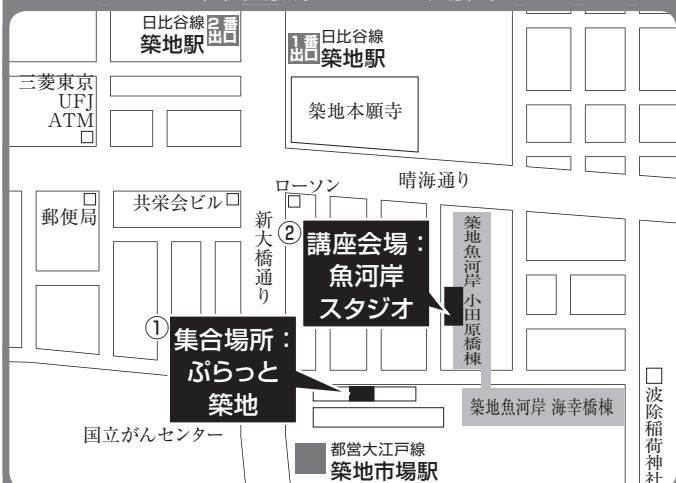
門井 直也 (かどい なおや)

築地魚河岸 京富 (つきじうおがし きょうとみ) 五代目社長。京富は日本橋時代から続く魚の仲卸。お客様目線での品揃えと目利き力が評判。五代目は和食の料理人の経験もあり、魚の捌き方や保存方法などが学べる講座「はじめての魚のさばき方」は、初心者でもわかりやすいと人気。2017年に築地場外市場にオープンした「築地魚河岸」の事業部長も務めている。

秋山 久美子 (あきやま くみこ)

秋山商店 (あきやましょうてん) 社長。秋山商店は創業1916年 (大正5年) の削り節一筋の老舗です。香り高い削りたてを提供し、料亭をはじめ多くの料理人から高い信頼を得ています。店頭に並び削り節の種類は10種以上。鯉節の出汁のとり方はもちろん、鯉節の歴史や料理における役割を伝えることにも取り組んでいます。

集合場所および会場図



① 集合場所 (ぷらっと築地): 築地4-16-2千社額棟1F
② 講座会場 (魚河岸スタジオ): 築地6-26-1築地魚河岸小田原橋棟3F

築地
場外市場

築技
TSUKI WAZA
セミナー



◆大石学の江戸時代史～新たな視点で歴史を見直すと～

主 題 従来、江戸時代は、明治維新によって克服された「差別」「抑圧」の強い前近代の遅れた社会・国家として評価されてきた。しかし今日、江戸時代について、近年と連続するさまざまな要素を含む初期近代の社会・国家として捉える考えかたが強くなっている。この講座では、武士の官僚化、首都江戸、「平和」などをキーワードに、あらためて江戸時代を見て行きたい。今回は、参考図書の内容を中心に、江戸時代前期を中心にお話する。

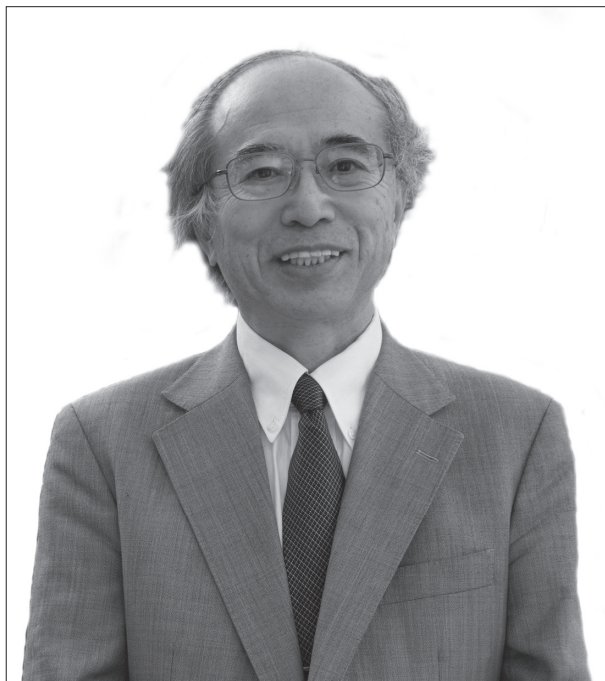
講座番号 ①－6

時 間：午後2時～3時30分
場 所：築地社会教育会館
回 数：5回
受講料：1,500円

参考図書：『新しい江戸時代が見えてくる～「平和」と「文明化」の265年～』（大石学著、吉川弘文館社）
※単行本などで事前に参考書を読んでおいてください。

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	10/24（月）	「平和」の到来	大石 学
第2回	11/21（月）	首都江戸の誕生	
第3回	12/12（月）	鎖国と日本人	
第4回	1/23（月）	武士の官僚化	
第5回	2/13（月）	元禄の経済発展	

講 師 紹 介



大石 学（おおいし まなぶ）

東京学芸大学名誉教授、独立行政法人日本芸術文化振興会監事、時代考証学会会長。専門は日本近世史。

NHK大河ドラマ『新選組!』『篤姫』『龍馬伝』『八重の桜』『花燃ゆ』『西郷どん』など多数の作品における時代考証を担当。

著書に『享保改革の地域政策』、『大岡忠相』、『近世日本の統治と改革』、『時代劇の見方・楽しみ方 時代考証とリアリズム』（いずれも吉川弘文館）、『徳川吉宗・国家再建に挑んだ將軍』（教育出版）、『首都江戸の誕生 大江戸はいかにして造られたか』、『元禄時代と赤穂事件』（共に角川選書）ほか多数。



託児付

(2/14を除く)

きほんの講座 ①ー7 定員35名

◆文楽の世界を楽しむ

講座番号 ①ー7

時 間：午後2時～4時

※第5回は午前10時～午後2時頃(予定)

場 所：築地社会教育会館

※第5回目は国立劇場に現地集合・
現地解散

回 数：5回

受講料：1,500円

観劇料：6,300円(予定)

イヤホンガイド代：450円(予定)

※希望者のみ

主 題 日本の伝統芸能で、ユネスコの無形文化遺産でもある文楽(人形浄瑠璃)について、その魅力を5回にわたり紹介します。

文楽の歴史から、義太夫、三味線、人形、演目の見どころポイントや物語の背景などを解説。庶民の芸能である文楽を楽しむ視点をお話します。

第1～4回の講義では、イヤホンガイド解説者が映像や資料を使い、わかりやすく楽しく文楽の世界へ誘います。第5回は技芸員の方のお話を聞き、文楽公演を実際に鑑賞します。

鑑賞当日は、同時解説イヤホンガイドをご利用いただけます。
(有料・希望者のみ)

※はじめて受講される方が優先されます。

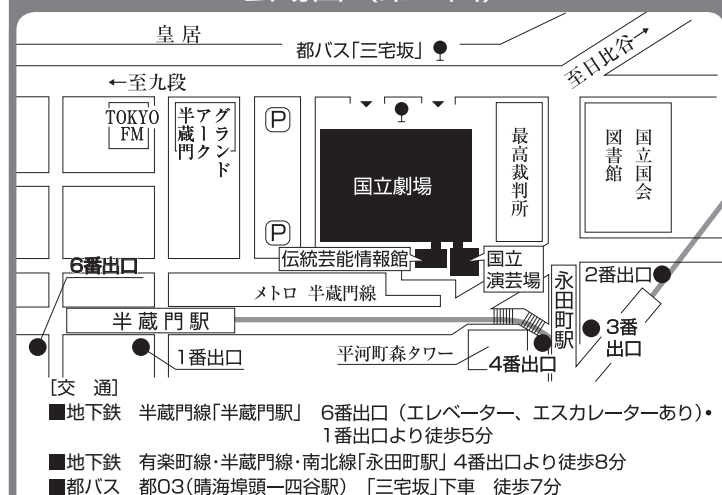
回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	1/17 (火)	文楽の歴史、約束事について	佳山 泉
第2回	1/24 (火)	文楽の三業～太夫・三味線・人形～	
第3回	1/31 (火)	名作演目をズバリ解説！	
第4回	2/ 7 (火)	観劇の見どころ解説	
第5回	2/14 (火)	技芸員のお話&観劇(公演鑑賞)	技芸員

講 師 紹 介

佳山 泉 (かやま いずみ)

イヤホンガイド解説者。2007年～15年まで国立劇場文楽公演プログラムのあらすじを執筆。著書に『マンガでわかる文楽』(誠文堂新光社)、『ぶんらくの本』(共著、日本芸術文化振興会)。文楽巡業公演プログラム「文楽を覗いてみよう」コラム連載中。

会場図 (第5回)



千代田区隼町4-1



◆画廊へのご招待

主 題 中央区には多くの画廊があり、多種多様なアートを発信しています。この講座は、画廊に興味はあるけれど入りづらいと思っている方を対象に、ギャラリストによる様々な美術の楽しみ方のレクチャーと画廊めぐりを実施します。講座を通じて、画廊の魅力を体感していただけます。

企画・協力：銀座ギャラリーズ

講座番号 ①ー8

時 間：午後6時30分～8時
 ※第2回は午後2時～3時30分
場 所：築地社会教育会館ほか
 ※第2回は現地集合・現地解散
回 数：3回
受講料：900円

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	1/16 (月)	「アート」と「美術」と「芸術」って？	山田 聖子 (靖山画廊) 熊谷 曜志 (日本画家)
第2回	1/21 (土)	画廊めぐり	佐々井 智子 (ギャラリーアートもりもと)
第3回	2/ 6 (月)	アートを自宅で楽しもう！ ～誰でもできる部屋のコーディネート編～	上田 崇一郎 (ギャラリー上田)

講 師 紹 介

山田 聖子 (やまだ せいこ)

靖山画廊代表。1964年東京都生まれ。国立女子短期大学卒業後、百貨店関係の文化催事を扱う会社に勤務。その後独立し、1996年に絵画全般を取扱う(株)アートジャパンを設立。2003年銀座7丁目に靖山画廊を開廊し2010年銀座5丁目に移転。国内外の優れた作家を紹介しながら、若手作家の育成にも力を注ぐ、と同時に幅広いアートビジネスを展開している。2017年より2年間銀座ギャラリーズ理事長を務める。2018年、著書『教養としての「芸術」入門』(幻冬舎)を出版。2018年米国NYにSEIZAN Gallery NYを開廊。2019年12月SEIZAN Gallery 凸decoを本店を構える銀座アビタシオンビル2階に開廊。

熊谷 曜志 (くまがい ようじ)

日本画家。1982年愛知県生まれ。2006年愛知県立芸術大学美術科日本画専攻卒業。2008年同大学博士前期課程日本画領域修了。従来日本に伝わる絵画における線の役割は、単純な形の描写ではなく、天と地を表す事に物の本質を見抜こうとしているのではないかと解釈し、線描に特に力を入れています。重力に従って落ちる線、逆らって伸びる線、それらを身体の運動でもって追体験する、その軌跡が日本絵画の線描の本質であり、様々な動き、流れ、素材などを描き分ける事を可能にしていると思います。未熟ながら常に意識し、試みています。

佐々井 智子 (ささい ともこ)

ギャラリーアートもりもと代表取締役。東京都生まれ。1986年に画廊入社、2019年ギャラリーアートもりもと代表取締役に就任。若手作家の展覧会を中心にプロデュースを行っている。

上田 崇一郎 (うえだ そういちろう)

ギャラリー上田取締役。東京都生まれ。成蹊大学経済学部卒業後、広告代理店へ入社。ファッション、コスメを中心とした広告のディレクション、キャスティングなどを経て、ギャラリー上田へ入社。創業者である祖父の理念を受け継ぎ、作品を通じ人々の縁を繋ぎたいという想いのもと活動中。

銀座ギャラリーズとは

銀座ギャラリーズは、銀座1丁目～8丁目の画廊約40軒による任意団体です。画廊の仕事や美術作品の魅力を知っていただき、気軽に足を運んでもらえるように定期的にイベントを開催しています。

春：画廊の夜会 冬：Xmasアートフェスタ

きほんの講座 ①－9

定員 20 名（10 名は中央区、10 名はボランティア・区民活動センターで募集）

◆ボランティアのための傾聴講座

主 題 「傾聴」は、相手をありのまま受け入れ、相手の気持ちや感情を理解することを基本としています。活動と一緒に仲間との関係を円滑にし、活動を良好に継続していくため、「ともに支え合う」ことを目的とした地域活動やボランティア活動において重要なスキルでもあります。

また、「傾聴」には“相手の気持ちに寄り添って、相手の心を聴く”という基本姿勢があります。ボランティアが善意の押しつけや自己満足に陥ることのないよう、「傾聴」の理念を踏まえた上で学んでみませんか。

講座番号 ①－9

時 間：午後 1 時 30 分～4 時

場 所：中央区社会福祉協議会

回 数：5 回

受講料：1,500 円

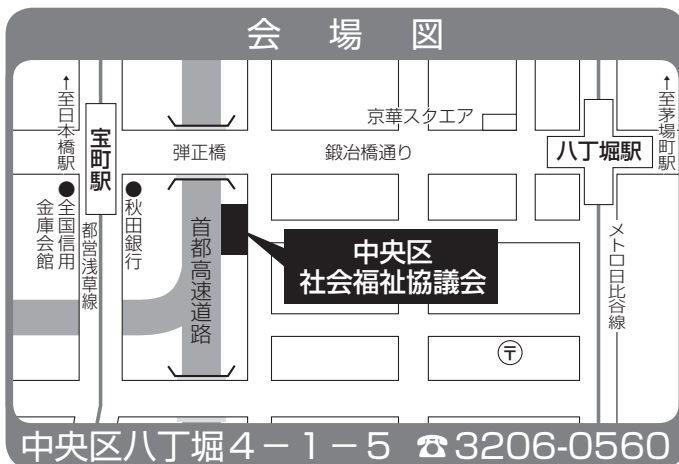
※この講座は全ての回にご参加いただくことを前提に、受講生同士で体験学習を行いながら順序立てて理解を進めていきます。

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第 1 回	1/24 (火)	傾聴を知る	NPO 法人 P.L.A. 専任講師
第 2 回	1/31 (火)	傾聴を体験する	
第 3 回	2/ 7 (火)	受容的、肯定的に聴く	
第 4 回	2/14 (火)	共感的に聴く	
第 5 回	2/21 (火)	講座のまとめ	

講師紹介

NPO 法人パートナーシップ アンド
リスニング アソシエーション(P.L.A)とは

「“聴くこと”のできる人を育てる」ため、2005 年 11 月に発足。年間 200 回以上の講座を開催し、傾聴ボランティア活動の普及に大きく貢献している。高齢者のための傾聴ボランティア養成を柱とし、コミュニケーション向上のための傾聴、ボランティアのための傾聴、施設職員のための傾聴、被災者支援のための傾聴など現代社会で必要とされる「傾聴」をより受講生の立場に沿った理論と実技を取り入れた内容でどなたにも理解できるようにプログラムされている。



中央区八丁堀 4-1-5 ☎ 3206-0560

ボランティア・区民活動センターでの募集 10 名（12 月）

定員の半数はボランティア・区民活動センターで募集します。

区外の方もお申し込みできます。

【申し込み方法】

ボランティア・区民活動センターのボランティア情報紙「月刊キャッチボール」

12 月号（12 月 1 日発行）および中央区社会福祉協議会ホームページ

(<https://www.shakyo-chuo-city.jp/>)

にて募集を行います。

